

平成20年度

「みやざき小中学校学力・意識調査」

分析結果

各教科の分析結果
中学校第2学年

宮崎県教育委員会

調査問題の趣旨・内容

読む能力 — 書かれている内容についての理解に関する基礎的・基本的な知識や能力が身に付いているかどうかを見る問題。

- (例) 叙述をもとに、登場人物の心情を読み取る。
文章の構成や要旨をとらえる。
様々な種類の資料から、必要な情報を読み取る。

書く能力 — 条件や目的に応じて書くことができるかどうかを見る問題。

- (例) 叙述を基に、登場人物への助言を記述する。
伝えたい事柄を明確にし、端的にまとめる。
身近な生活の中から課題を見つけ、自分の考えをまとめる。

言語についての知識・理解・技能 — 言語事項に関する基礎的な知識・技能が身に付いているかどうかをみる問題。

- (例) 漢字を正しく読んだり書いたりする。
文の関係や文節、漢字の部首や画数を正しくとらえる。
歴史的仮名遣いを現代仮名遣いになおす。

課題等

読むこと

人物の心情を読み取り、その説明として適切な選択肢を選ぶこと（大問1小問3）は、84.2%の設問別通過率であり、領域の目標値74.6%をかなり上回っている。

人物の視点から書かれた情景描写を手がかりに、その心情を想像して読むことに課題がある。

人物の行動と心情の因果関係を的確にとらえることに課題がある。

文章の展開に即して指示内容を的確にとらえることに課題がある。

書くこと

人物の置かれた状況や心情に対して、条件にしたがって自分の考えを書くことに課題がある。

資料の情報をもとに、伝えるべき内容を端的にまとめて書くことに課題がある。

資料の情報をもとに、設定された課題を自分のこととしてとらえ、具体的な提案を整理して書くことに課題がある。

言語事項

日常的に使用頻度の低い漢字の読みや、文脈に即して漢字を正しく書くことに課題がある。

主述の関係をとらえる、文節の区別をする、漢字の部首と画数を答える、古文を正しく音読して表記するなど、言語についての基礎的な知識・理解に課題がある。

指導改善のポイント

読むこと

人物の行動や情景描写から、人物の心情を把握する言語活動の充実

- ・ 人物の心情が直接描かれた部分の読み取りだけでなく、行動の背景にある心情について、叙述に即して根拠を明確にしながらか意見を述べたり、情景描写に込められた人物の心情や、その表現効果について話し合ったりするなどの活動を充実することが大切である。

文章全体とのかかわりの中で細部を詳しく読みとる言語活動の充実

- ・ 接続語や指示語などに着目しながら、文や段落相互の関係を正しくとらえ、文章全体の構成や展開において、文章の一部が果たす役割について考える活動を充実することが大切である。

書くこと

文章や資料をもとに伝えたい内容をまとめ、条件にしたがって書く言語活動の充実

- ・ 文章や資料から大事なことを取り出し、気づいたことや考えたことを簡潔にまとめる活動を充実することが大切である。
- ・ 文章や資料を読み取るだけでなく、読み取ったことを自分の学習や生活に生かす活動を充実することが大切である。
- ・ 伝えるべき内容が正しく伝わるよう、相手や目的に応じて内容を整理したり、表現を工夫したりする活動を充実することが大切である。

言語事項

基礎的な言語事項の定着を図り、ことばについての意識を高める指導の重視

- ・ 日常生活の中で使用頻度が低いと思われる語句であっても、文章の中から取りだして指導したり、幅広い読書活動をさせたりして、より多くのことばに触れ、語彙を広げようとする意識を高める指導の工夫が大切である。
- ・ 書写の指導においては、楷書や行書に対する知識や技能を高め、文字を丁寧に書く意識や態度を育成する指導の工夫が大切である。
- ・ 文法の指導においては、文脈における言葉の働きに着目させ、理解したことをさらに他の言語活動に生かす指導の工夫が大切である。
- ・ 古文の指導においては、音読・朗読を重視することにより、古文特有のリズムに親しませながら、古語のきまりを習得させる指導の工夫が大切である。

設問別解答状況一覧

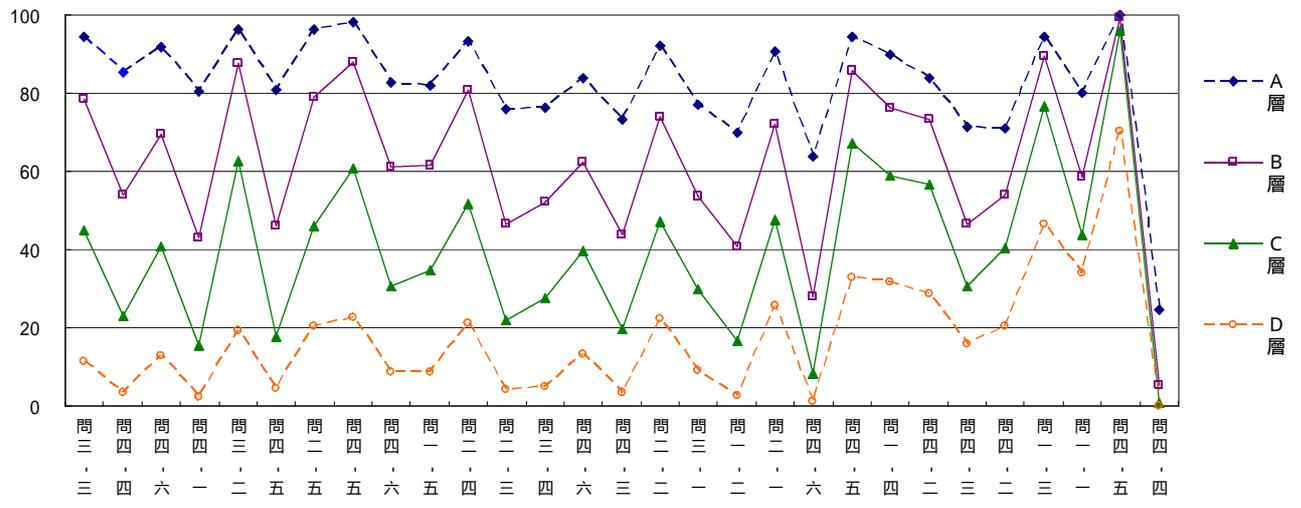
設問別通過率

(%)

問題番号 通し 番号	大問 小問	出題内容	観点	領域	全県	層別					A層 - D層	無解答率
						A層	B層	C層	D層			
1	1	1	文章の展開に即した描写の理解	読む能力	読むこと	58.2	80.1	58.6	43.9	34.0	46.1	0.3
2	1	2	文章の展開に即した内容(因果)の理解	読む能力	読むこと	38.9	70.0	40.9	16.6	2.6	67.4	10.5
3	1	3	文章の展開に即した内容(心情)の理解	読む能力	読むこと	84.2	94.5	89.3	76.6	46.3	48.2	0.3
4	1	4	文章の展開に即した朗読	読む能力	読むこと	71.9	89.7	76.3	58.8	31.8	57.9	0.4
5	1	5	人物への助言の記述	書く能力	書くこと	55.7	81.9	61.5	34.6	8.7	73.2	15.3
6	2	1	適切な接続詞の選択	読む能力	読むこと	66.9	90.4	72.1	47.7	25.6	64.8	0.3
7	2	2	文章の中心の部分と付加的な部分の理解	読む能力	読むこと	67.8	92.1	74.0	47.3	22.4	69.7	0.8
8	2	3	文章の展開に即した内容(指示内容)の理解	読む能力	読むこと	44.1	75.7	46.4	21.7	4.2	71.5	6.7
9	2	4	文章の展開に即した構成の理解	読む能力	読むこと	72.2	93.1	80.9	51.8	21.1	72.0	0.5
10	2	5	文章の展開に即した要旨の理解	読む能力	読むこと	70.5	96.2	78.8	46.1	20.2	76.0	0.6
11	3	1	文章の見出しの記述	書く能力	書くこと	49.8	76.8	53.5	29.7	9.2	67.6	8.3
12	3	2	文章の展開に即した内容の理解	読む能力	読むこと	78.4	96.2	87.6	62.6	19.1	77.1	6.9
13	3	3	様々な資料からの情報の選択	読む能力	読むこと	69.0	94.5	78.5	44.9	11.5	83.0	3.9
14	3	4	資料の条件に基づいた自らの考えの記述	書く能力	書くこと	48.2	76.1	52.0	27.7	5.0	71.1	9.5
15	4	1	主・述の関係	言語についての知識 理解 技能	言語事項	42.0	80.3	43.1	15.5	2.4	77.9	9.7
16	4	2	文節の区別	言語についての知識 理解 技能	言語事項	68.3	83.9	73.1	56.5	28.5	55.4	1.7
17	4	2	文節の区別	言語についての知識 理解 技能	言語事項	52.1	71.0	53.8	40.4	20.4	50.6	1.9
18	4	3	漢字の部首	言語についての知識 理解 技能	言語事項	41.9	73.3	43.9	19.8	3.5	69.8	18.1
19	4	3	漢字の画数	言語についての知識 理解 技能	言語事項	46.1	71.2	46.6	30.4	15.8	55.4	2.1
20	4	4	歴史的仮名遣い	読む能力	読むこと	8.2	24.5	5.1	0.9	0.1	24.4	29.1
21	4	4	歴史的仮名遣い	読む能力	読むこと	49.9	85.4	53.9	22.9	3.4	82.0	20.3
22	4	5	漢字の読み	言語についての知識 理解 技能	言語事項	96.6	99.9	99.4	95.8	70.3	29.6	1.1
23	4	5	漢字の読み	言語についての知識 理解 技能	言語事項	79.3	94.5	85.5	67.2	32.9	61.6	3.0
24	4	5	漢字の読み	言語についての知識 理解 技能	言語事項	78.9	98.0	88.0	60.8	22.7	75.3	4.0
25	4	5	漢字の読み	言語についての知識 理解 技能	言語事項	44.1	80.7	46.0	17.7	4.6	76.1	13.1
26	4	6	漢字の書き	言語についての知識 理解 技能	言語事項	63.4	91.6	69.5	40.8	12.7	78.9	9.8
27	4	6	漢字の書き	言語についての知識 理解 技能	言語事項	29.5	63.7	28.1	8.3	1.1	62.6	28.3
28	4	6	漢字の書き	言語についての知識 理解 技能	言語事項	58.1	83.7	62.2	39.6	13.2	70.5	17.4
29	4	6	漢字の書き	言語についての知識 理解 技能	言語事項	54.7	82.8	61.1	30.5	8.7	74.1	24.4

設問別：各層の通過率

A層とD層との差が大きい設問順に左から並べています



調査問題の趣旨・内容

- 知識理解 - 地理的・歴史的事象についての基礎的・基本的な知識が身に付いているかどうかを見る問題。
(例) 大陸名や海洋名、日本の領土を理解する。
南蛮貿易について理解する。
- 資料活用 - 地理的・歴史的事象を調査し、地球儀や地形図、年表など各種の具体的資料から情報を読み取り、活用することができるかどうかを見る問題。
(例) 地図から工場の立地について読み取る。
資料から将軍と御家人との主従関係について説明する。
- 思考判断 - 複数の資料から関連や背景を読み取り、多面的・多角的に考察することができるかどうかを見る問題。
(例) テーマをもとに仮説を設定し、仮説にもとづいて調査内容を考える。
歴史的事象と現在の生活を結び付けて考える。

課題等

世界と日本の地域構成

地球儀から緯線を読み取り、それぞれの線が何度を表しているかを読み取ることに課題がある。

正距方位図法から距離を読み取ることに課題がある。

日本の最北端の理解に課題がある。

地域の規模に応じた調査

調査学習における問題解決的な学習の流れ(大問6小問1)を問う問題については、88.6%の設問別通過率であり、この領域の目標値55.7%をかなり上回っている。

地形図の縮尺や方位、地図記号を正確に読み取ることに課題がある。

九州5県の産業別県内総生産額に関するグラフを正確に読み取ることに課題がある。

福岡の歴史的事象がおこった理由を地理的条件から説明することに課題がある。

古代までの日本

国風文化が栄えた背景について、外交的な事柄と結び付けて考えることに課題がある。

与えられたテーマにもとづき仮説を設定し、調査内容を考えることに課題がある。

中世の日本

水墨画から時代を読み取り、その時代に起こったことを考えることに課題がある。

近世の日本

屏風絵に描かれているポルトガル人やスペイン人が、当時は何と呼ばれていたかを答える問題(大問4小問2)については、72.2%の設問別通過率であり、この領域の目標値53.3%をかなり上回っている。

指導改善のポイント

世界と日本の地域構成

地球儀や様々な地図の活用を重視

- ・ 地球儀や地図などを授業の中で積極的に取り入れ、大陸や海洋などを読み取らせるとともに、緯度や経度など、読図のための知識を、多様な地図を用いて確実に身に付けさせることが大切である。
- ・ わが国の領土・領域については、地図を用いて確実な定着を図ることが大切である。

地域の規模に応じた調査

地形図やグラフなどの資料を様々な角度から読み取る学習を重視

- ・ 地形図を読み取るための基本的な知識(縮尺、方位、地図記号等)や、統計グラフに示されたデータの内容を正確に読み取る力を身に付けさせることが大切である。
- 歴史的事象と地理的事象を関連させる学習を重視
- ・ 複数の歴史的事象を地理的条件から考察し、歴史的事象が起こった原因や結果を説明するなど、多面的・多角的な見方・考え方を身に付けさせることが大切である。

古代までの日本

資料からテーマを設定し、問題解決的な学習を行うことを重視

- ・ 歴史的分野の学習では、知識を習得するだけの学習にならないよう、仮説を立て、調査していくような学習を行うことが重要である。また、多様な資料を生かして問題解決的な学習を行うことも大切である。

中世の日本

資料の暗記ではなく、資料から読み取る力を身に付ける学習を行うことを重視

- ・ 歴史的資料を授業で扱う際に、資料の名称や作者などを覚えることに終始するのではなく、資料が示しているものや、その時代背景など、資料から多面的・多角的に読み取る力を身に付けさせることが大切である。

近世の日本

歴史を現代につなげ、活用する学習を行うことを重視

- ・ 歴史的分野の学習は、社会科の目標である「公民的資質の基礎」を培うことも目指している。したがって、歴史で学んだ知識を、現在に生かす視点をもたせることが必要である。そのために、現代の社会問題を歴史的事象と結び付けて考える学習など、生徒たちが、歴史で学んだことを生かすことのできる学習の場を設定することが大切である。

設問別解答状況一覧

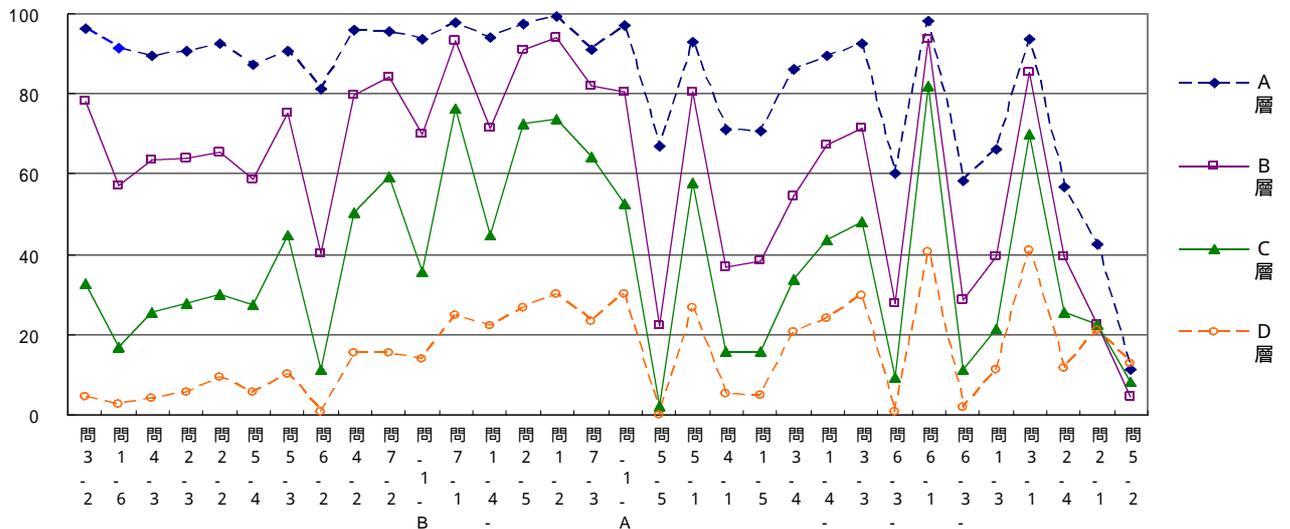
設問別通過率

(%)

問題番号 通し 番号	問題番号		出題内容	観点	領域	全県	A層	B層	C層	D層	A層 - D層	無解答率
	大問	小問										
1	1	1	大陸名	知識理解	世界と日本の地域構成	74.2	97.0	80.4	52.6	29.9	67.1	2.2
2	1	1	海洋名	知識理解	世界と日本の地域構成	63.4	93.6	69.8	35.9	13.8	79.8	2.4
3	1	2	赤道の名称	資料活用	世界と日本の地域構成	86.2	99.2	94.1	73.6	29.9	69.3	4.3
4	1	3	緯度と経度	資料活用	世界と日本の地域構成	39.6	66.1	39.6	21.5	11.3	54.8	1.1
5	1	4	時差	資料活用	世界と日本の地域構成	63.8	89.4	67.2	43.5	24.0	65.4	1.0
6	1	4	標準時	資料活用	世界と日本の地域構成	67.0	94.0	71.4	44.8	22.1	71.9	0.9
7	1	5	地図の読み取り	知識理解	世界と日本の地域構成	38.3	70.6	38.3	15.7	4.9	65.7	3.2
8	1	6	世界の地域区分	知識理解	世界と日本の地域構成	51.7	91.2	57.2	17.1	2.8	88.4	12.3
9	2	1	日本の位置と領域	知識理解	世界と日本の地域構成	27.3	42.6	22.4	22.5	21.1	21.5	2.0
10	2	2	日本の地域区分	資料活用	世界と日本の地域構成	59.4	92.4	65.4	30.2	9.5	82.9	9.8
11	2	3	都道府県の構成	思考判断	世界と日本の地域構成	57.4	90.6	63.9	27.8	5.7	84.9	14.8
12	2	4	地形図の読み取り	知識理解	地域の規模に応じた調査	38.3	56.6	39.4	25.6	11.5	45.1	4.6
13	2	5	新旧地形図	知識理解	地域の規模に応じた調査	84.0	97.3	91.1	72.4	26.8	70.5	8.5
14	3	1	文明の起こりと日本	知識理解	古代までの日本	80.8	93.6	85.5	70.0	40.9	52.7	0.5
15	3	2	聖徳太子の政治	資料活用	古代までの日本	66.2	96.4	78.1	32.6	4.6	91.8	17.2
16	3	3	律令国家の形成	資料活用	古代までの日本	68.0	92.5	71.3	48.3	29.7	62.8	0.7
17	3	4	国風文化	資料活用	古代までの日本	54.8	86.1	54.6	33.7	20.5	65.6	1.5
18	4	1	応仁の乱	資料活用	中世の日本	37.7	70.9	36.8	15.8	5.1	65.8	19.6
19	4	2	ヨーロッパ人の来航	知識理解	近世の日本	72.2	95.9	79.7	50.5	15.6	80.3	9.2
20	4	3	武家政治の特色	資料活用	中世の日本	56.3	89.3	63.5	25.5	4.0	85.3	22.7
21	5	1	新旧地図の比較	思考判断	世界と日本の地域構成	74.4	92.9	80.4	57.9	26.6	66.3	0.7
22	5	2	福岡の産業	思考判断	地域の規模に応じた調査	7.6	11.4	4.4	8.1	12.7	-1.3	0.8
23	5	3	九州の工業	資料活用	地域の規模に応じた調査	67.2	90.6	75.2	44.9	10.1	80.5	7.9
24	5	4	福岡空港の利用	思考判断	地域の規模に応じた調査	54.2	87.1	58.7	27.3	5.5	81.6	6.5
25	5	5	福岡の位置	思考判断	地域の規模に応じた調査	26.4	66.9	22.0	2.1	0.0	66.9	39.2
26	6	1	学習の流れ	知識理解	地域の規模に応じた調査	88.6	98.0	93.6	82.0	40.6	57.4	0.9
27	6	2	資料の読み取り	資料活用	古代までの日本	40.2	81.2	40.1	11.1	0.8	80.4	9.5
28	6	3	仮説の設定	思考判断	古代までの日本	29.4	60.3	27.9	9.5	0.8	59.5	24.0
29	6	3	調査項目の設定	思考判断	古代までの日本	29.7	58.2	28.5	11.3	1.7	56.5	23.9
30	7	1	資料の読み取り	資料活用	古代までの日本	85.9	97.9	93.1	76.5	25.0	72.9	6.3
31	7	2	タイトルの設定	思考判断	近世の日本	76.3	95.4	84.1	59.4	15.5	79.9	9.3
32	7	3	歴史の活用	思考判断	近世の日本	76.1	90.9	82.0	64.3	23.4	67.5	11.7

設問別:各層の通過率

A層とD層との差が大きい設問順に左から並べています



調査問題の主旨・内容

- 表現・処理 - 事象を数理的に処理し、文字式、グラフ、作図などを用いて表現することができるかどうかを見る問題。
(例) 数の四則計算、図形の面積や体積を求める。
比例のグラフをかくことや垂直二等分線を作図する。
- 知識・理解 - 数と式、数量関係、図形領域における基礎・基本的な内容を理解しているかどうかを見る問題。
(例) 数の大小関係や文字式の意味を理解する。
比例、反比例の関係について理解する。
- 見方・考え方 - 事象を数学的にとらえ、数式や数量関係を用いて、論理的に問題を解決することができるかどうかを見る問題。
(例) 一次方程式を用いて、論理的に説明する。
2つの数量関係を求め、2つの事象の違いを説明する。

課題等

数と式

文字式での計算や数の加法・減法を問う問題(大問1小問3)については、設問別通過率86.7%であり、領域の目標値73.6%をかなり上回っている。

数の増え方の規則性を問う問題(大問4小問1)については、設問別通過率83.5%であり、領域の目標値73.6%をかなり上回っている。

文字式(多項式)の表す意味を理解することに課題がある。

一次方程式を使って、数学的に説明することに課題がある。

文字式の意味を図示することに課題がある。

等式の性質を理解することに課題がある。

数量関係

反比例の関係のグラフを問う問題(大問6小問3)については、設問別通過率76.7%であり、領域の目標値63.8%をかなり上回っている。

比例や反比例の関係を理解することに課題がある。

事象の中の数量関係を把握し、問題解決することに課題がある。

図形

直線の本数や線対称の意味、垂直二等分線の作図を問う問題(大問7小問1, 2)は、いずれも領域の目標値67.5%を上回っている。

図形の面積を求めることに課題がある。

円錐の体積を求めることに課題がある。

おうぎ形の弧の長さや円の半径を求めることに課題がある。

...よくできている点

...課題のある点

指導改善のポイント

数と式

基礎・基本事項の定着と計算技能の習熟の重視

- ・ 負の数や指数を含む四則計算を確実に定着させることが大切である。また、式の値における負の数の代入処理を確実に理解させる必要がある。
- ・ 数の種類と大小関係、絶対値の意味について確実に理解させることが大切である。
- ・ 様々な事象を文字式で表現することや文字式の表す意味を具体的な事象に関連させて理解させることが重要である。

方程式の表す意味と具体的な場面との関係を理解させる学習の充実

- ・ 一次方程式の意味を理解させ、具体的な問題の中で、解を求めることができるように指導することが大切である。
- ・ 文字式の意味を理解させ、具体的な場面において、数値や文字を用いて説明できるように指導することが重要である。

数量関係

比例、反比例の意味の理解とグラフの重視

- ・ 事象の中における比例や反比例の関係を見出すことができるように指導することが大切である。また2つの数量の変化や対応関係の特徴を、表、式やグラフを用いて理解させることが重要である。
- ・ グラフにおいては、座標や負の領域の意味、描画の方法を確実に理解させ、比例定数とグラフの関係を把握させることが必要である。
- ・ 事象の中における課題を、数学的な見方や考え方でとらえ、その解決を図るために、値や式を用いることで、比較・分析したり、判断・説明したりできるように指導することが重要である。

図形

平面及び空間における基本事項の定着と面積や体積計算を習熟させる学習の充実

- ・ 平面や空間図形の基本性質を理解させ、身近な事象を図形の性質と関連させながらとらえさせることが必要である。
- ・ 作図の基本的な技能を身に付けさせ、図形に関する見方や考え方を深め、論理的に考えさせるように指導することが大切である。
- ・ 基本的な面積の求め方を理解させること、図形の中の対称性や等しい面積の関係に気づかせること、考察したことを用いて面積を求めることができるように指導することが重要である。
- ・ 立体を平面図形の動きとして理解させ、基本的な立体の体積を求めることができるように指導することが大切である。
- ・ おうぎ形の中心角、弧の長さ、面積については、それらの値を確実に求めることができるように指導することが大切である。

設問別解答状況一覧

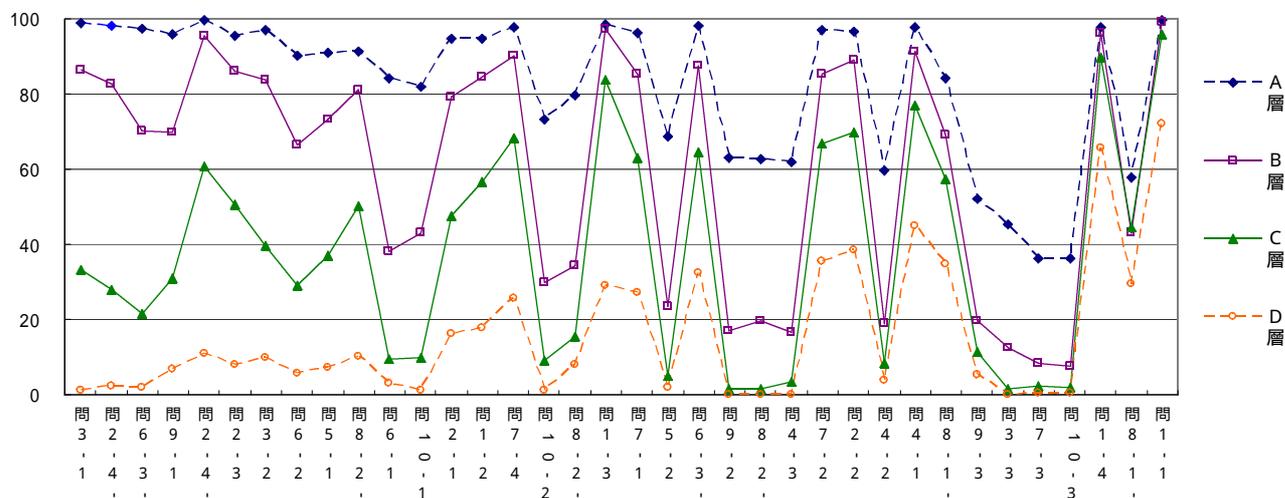
設問別通過率

(%)

問題番号			出題内容	観点	領域	全県	A層	B層	C層	D層	A層 - D層	無解答率
通し番号	大問	小問										
1	1	1	正の数,負の数の加法	表現・処理	数と式	95.7	99.7	99.2	96.0	72.1	27.6	0.3
2	1	2	数の累乗や乗法の計算	表現・処理	数と式	70.9	94.6	84.5	56.5	17.6	77.0	1.0
3	1	3	文字式と数の加法・減法	表現・処理	数と式	86.7	98.5	97.2	83.9	28.9	69.6	1.8
4	1	4	単項式と数の乗法	表現・処理	数と式	91.6	97.9	96.2	89.9	65.5	32.4	1.7
5	2	1	絶対値の意味	表現・処理	数と式	65.8	94.9	79.4	47.6	16.4	78.5	2.1
6	2	2	数の大小関係	知識・理解	数と式	79.4	96.5	89.2	69.9	38.4	58.1	0.6
7	2	3	式の値	表現・処理	数と式	68.9	95.6	86.2	50.6	7.9	87.7	5.3
8	2	4	文字式の意味	表現・処理	数と式	77.2	99.8	95.6	60.7	10.9	88.9	5.4
9	2	4	文字式の意味	表現・処理	数と式	60.0	98.2	82.6	27.8	2.3	95.9	10.0
10	3	1	一次方程式	表現・処理	数と式	63.4	98.7	86.5	33.2	1.0	97.7	11.1
11	3	2	一次方程式	表現・処理	数と式	64.8	97.1	83.6	39.8	10.0	87.1	14.6
12	3	3	一次方程式を使って,説明することができる	見方・考え方	数と式	13.1	45.3	12.4	1.6	0.0	45.3	54.2
13	4	1	数の増え方の規則性	表現・処理	数と式	83.5	97.9	91.3	77.1	44.9	53.0	2.9
14	4	2	文字式の意味を図示	見方・考え方	数と式	20.7	59.8	19.0	8.3	3.9	55.9	27.4
15	4	3	文字式の利用	表現・処理	数と式	18.1	61.9	16.6	3.4	0.1	61.8	18.9
16	5	1	方程式の解の意味	表現・処理	数量関係	58.3	91.1	73.2	37.1	7.2	83.9	1.7
17	5	2	等式の性質	表現・処理	数量関係	22.7	68.6	23.5	4.8	1.9	66.7	10.6
18	6	1	比例の関係	知識・理解	数量関係	33.1	84.1	38.1	9.6	3.1	81.0	3.2
19	6	2	比例の関係のグラフ	表現・処理	数量関係	52.5	90.1	66.3	29.0	5.6	84.5	7.2
20	6	3	反比例の関係	表現・処理	数量関係	52.5	97.2	70.3	21.4	1.8	95.4	13.0
21	6	3	反比例の関係のグラフ	知識・理解	数量関係	76.7	98.1	87.6	64.5	32.5	65.6	5.7
22	7	1	直線の本数	表現・処理	図形	74.4	96.2	85.1	63.0	27.0	69.2	2.8
23	7	2	線対称の意味	知識・理解	図形	76.6	96.9	85.4	66.8	35.4	61.5	1.2
24	7	3	図形の面積	見方・考え方	図形	10.2	36.4	8.3	2.4	0.3	36.1	56.5
25	7	4	垂直二等分線の作図	表現・処理	図形	78.4	97.9	90.3	68.4	25.6	72.3	9.7
26	8	1	空間における平面と直線の位置関係	知識・理解	図形	64.5	84.0	69.1	57.4	34.8	49.2	2.8
27	8	1	空間における直線と直線の位置関係	知識・理解	図形	44.6	57.6	43.1	44.6	29.3	28.3	3.1
28	8	2	平面の回転体	知識・理解	図形	66.3	91.5	81.3	50.3	10.1	81.4	4.4
29	8	2	円錐の体積を求めることができる	表現・処理	図形	18.9	62.7	19.5	1.6	0.1	62.6	25.4
30	8	2	2つの円錐の体積比	表現・処理	図形	33.2	79.8	34.5	15.6	8.1	71.7	35.8
31	9	1	おうぎ形の中心角	知識・理解	図形	55.6	95.8	69.8	31.0	6.8	89.0	21.1
32	9	2	おうぎ形の弧の長さ	表現・処理	図形	17.9	63.2	17.1	1.5	0.1	63.1	31.9
33	9	3	弧の長さとの半径	表現・処理	図形	20.9	51.9	19.6	11.5	5.3	46.6	41.7
34	10	1	割合	表現・処理	数と式	34.7	81.9	43.1	9.8	1.1	80.8	15.2
35	10	2	反比例の関係	見方・考え方	数量関係	27.5	73.3	30.0	9.0	1.1	72.2	19.7
36	10	3	事象の中の数量関係	見方・考え方	数量関係	9.7	36.1	7.5	2.0	0.3	35.8	38.3

設問別:各層の通過率

A層とD層との差が大きい設問順に左から並べています



調査問題の趣旨・内容

- 知識・理解 - 自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識が身に付いているかどうかを見る問題。
(例) たい積岩の特徴を理解する。
気体の発生方法を理解する。
- 技能・表現 - 観察、実験の基本操作とともに、自然の事物・現象を科学的に探究し、そこから導き出した考えを表現できるかどうかを見る問題。
(例) 酸性やアルカリ性の水溶液の性質を、指示薬により確認する。
おもりにはたらく2つの力を、的確に表示する。
- 科学的な思考 - 自然の事物・現象を実証的、論理的に考えたり、分析的、総合的に考察したりして問題を解決することができるかどうかを見る問題。
(例) 身近な音の高低の現象を、まとめた内容と既習の知識で説明する。

課題等

植物の生活と種類

2つのタンポポの特徴を把握し見分ける問題(大問9小問1)については、74.5%の設問別通過率であり、領域の目標値70.0%をやや上回っている。

顕微鏡操作の正しい手順を理解することに課題がある。

実験結果をもとに、光合成に二酸化炭素が必要なことを考察することに課題がある。

タンポポの根のはたらきを考察し、表現することに課題がある。

大地の変化

石灰岩を構成している物質の理解に課題がある。

震源までの距離の違いを考察し、それを表現することに課題がある。

観測結果から、初期微動を伝える波の速さを求める問題(大問4小問2)については、21.8%の設問別通過率であり、領域の目標値71.0%をかなり下回っている。

身の回りの物質

二酸化炭素を発生させる物質を特定することや、捕集した気体の安全な確認方法の理解に課題がある。

水溶液の性質を指示薬により確認することや、中和によって塩が生成されることについての理解に課題がある。

身近な物理現象

おもりにはたらく力を矢印で図示させる問題(大問7小問2)については、5.3%の設問別通過率であり、領域の目標値67.9%をかなり下回っている。

紙を引きさくときの音の高低について説明させる問題(大問10小問1)については、12.2%の設問別通過率であり、領域の目標値67.9%をかなり下回っている。

...よくできている点 ...課題のある点

指導改善のポイント

植物の生活と種類

顕微鏡やルーペなどの活用を重視

- ・ 観察対象に応じた適切なルーペの使い方とともに、顕微鏡については、各部の名称・使用法に加え、しくみを理解させた上で、より正確に観察するための方法や安全な使い方を確実に身に付けさせることが大切である。

実験や観察結果を正確に読み取らせる学習を重視

- ・ 実験操作や観察方法を理解し、観察結果等、与えられた情報の正確な読み取りを通して、疑問や与えられた課題の解決に向けて、論理的な説明や表現をさせることが大切である。

大地の変化

たい積岩の観察を重視

- ・ たい積岩を適切に観察させ、スケッチや文章で記録させるとともに、粒の大きさと成分を関連付けて分類させることが大切である。

地震計の記録を読み取らせる学習を重視

- ・ P波とS波のゆれの特徴、伝わる速さなどを確実に押さえ、地震計の記録から、観測地点から震源までの距離や、波の伝わる速さを推定させることが大切である。

身の回りの物質

気体の発生方法や性質を理解させることを重視

- ・ 酸素や二酸化炭素など、気体の性質を理解させ、いろいろな発生方法や捕集の実験操作を正しく安全に行わせることが大切である。

中和における指示薬の変化や、中和のしくみについて理解させることを重視

- ・ フェノールフタレイン溶液やBTB溶液など、色の変化や役割を、実験などを通して正確に理解させ、中和にあたっては、生じる塩の意味を確実に理解させることが大切である。

身近な物理現象

つりあっている物体にはたらく力の表し方を重視

- ・ 力の表し方を理解し、力の三要素をふまえて、つりあっている物体にはたらく2力を、力の矢印を使って正確に表現できるよう指導することが大切である。

音の大きさや高さ、振幅や振動数との関係を理解させることを重視

- ・ 基本的な実験だけでなく、身近な音に関する現象をもとに、音の大小と振幅、音の高低と振動数が関係していることを考察し、表現させるよう指導することが大切である。

設問別解答状況一覧

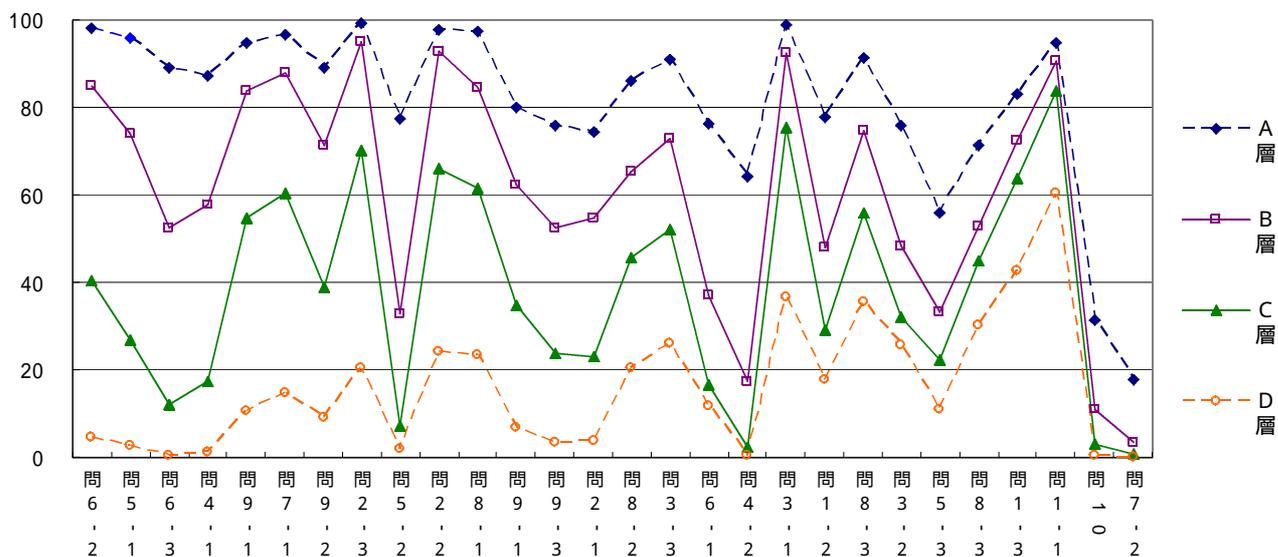
設問別通過率

(%)

問題番号			出題内容	観点	領域	全県	A層	B層	C層	D層	A層 - D層	無解答率
通し番号	大問	小問										
1	1	1	顕微鏡の名称	知識・理解	植物の生活と種類	88.0	94.9	90.5	83.6	60.5	34.4	2.0
2	1	2	顕微鏡の操作	知識・理解	植物の生活と種類	47.3	77.8	48.1	28.9	17.6	60.2	0.2
3	1	3	顕微鏡の操作	技能・表現	植物の生活と種類	70.8	83.2	72.5	63.8	42.7	40.5	0.2
4	2	1	植物の光合成	科学的な思考	植物の生活と種類	47.4	74.3	54.6	23.0	3.7	70.6	5.9
5	2	2	植物の光合成	科学的な思考	植物の生活と種類	83.2	97.9	92.8	66.1	24.0	73.9	0.6
6	2	3	植物の光合成	知識・理解	植物の生活と種類	85.4	99.1	95.0	70.3	20.4	78.7	5.3
7	3	1	地層と過去のようす	技能・表現	大地の変化	86.4	98.9	92.6	75.4	36.5	62.4	0.6
8	3	2	地層と過去のようす	知識・理解	大地の変化	48.2	76.0	48.2	32.2	25.5	50.5	0.5
9	3	3	地層と過去のようす	知識・理解	大地の変化	68.4	90.8	72.8	52.1	26.2	64.6	0.4
10	4	1	震源までの距離	科学的な思考	大地の変化	50.0	87.3	57.7	17.5	1.2	86.1	8.0
11	4	2	揺れの伝わる速さ	科学的な思考	大地の変化	21.8	64.1	17.5	2.3	0.5	63.6	24.2
12	5	1	気体の捕集方法	知識・理解	身の回りの物質	62.2	95.8	74.1	26.9	2.5	93.3	8.5
13	5	2	気体の発生方法	知識・理解	身の回りの物質	33.1	77.2	32.7	7.2	2.0	75.2	1.2
14	5	3	気体の性質	科学的な思考	身の回りの物質	33.6	56.0	33.1	22.3	11.0	45.0	16.0
15	6	1	中和反応	技能・表現	身の回りの物質	38.0	76.3	36.9	16.7	11.7	64.6	1.0
16	6	2	中和反応	知識・理解	身の回りの物質	71.6	98.1	85.0	40.3	4.6	93.5	14.7
17	6	3	中和反応	知識・理解	身の回りの物質	46.1	89.0	52.3	11.9	0.3	88.7	23.4
18	7	1	物体に加えた力	知識・理解	身近な物理現象	78.5	96.5	87.8	60.4	14.9	81.6	3.8
19	7	2	2力のつりあい	技能・表現	身近な物理現象	5.3	17.8	3.3	0.6	0.0	17.8	3.4
20	8	1	凸レンズのはたらき	知識・理解	身近な物理現象	77.9	97.2	84.7	61.6	23.3	73.9	3.0
21	8	2	凸レンズのはたらき	科学的な思考	身近な物理現象	61.9	86.1	65.4	45.6	20.4	65.7	1.3
22	8	3	凸レンズのはたらき	科学的な思考	身近な物理現象	53.1	71.2	52.8	44.8	30.1	41.1	0.9
23	8	3	凸レンズのはたらき	科学的な思考	身近な物理現象	70.9	91.3	74.6	55.9	35.3	56.0	1.6
24	9	1	タンポポの特徴	科学的な思考	植物の生活と種類	74.5	94.9	83.7	54.8	10.5	84.4	5.8
25	9	1	タンポポの特徴	科学的な思考	植物の生活と種類	55.5	79.9	62.3	34.7	6.8	73.1	8.0
26	9	2	タンポポのふえ方	科学的な思考	植物の生活と種類	63.1	89.2	71.5	39.0	9.0	80.2	5.1
27	9	3	タンポポの根のはたらき	科学的な思考	植物の生活と種類	46.7	75.7	52.3	23.6	3.4	72.3	8.2
28	10	1	音の高低	科学的な思考	身近な物理現象	12.2	31.3	10.8	3.0	0.3	31.0	10.6

設問別：各層の通過率

A層とD層との差が大きい設問順に左から並べています



調査問題の趣旨・内容

理解	- 「聞くこと」「読むこと」について基礎的・基本的な知識が身に付いているかどうかを見る問題。
(例)	英語での問いかけに対応する。 英語を聞いて詳細を理解する。 英語を聞いて概要・要点を理解する。 英語を読んで詳細を理解する。 英語を読んで概要・要点を理解する。 英語を読んで対話の流れを理解する。
知識・理解	- 場面に応じた英語の使用法や語順などの文法的な知識が身に付いているかどうかを見る問題。
(例)	場面に応じた英語の使用法を理解する。 与えられた英語で語順正しく書く。
表現	- 基礎的・基本的な知識を使って、英語が使われる場面において適切に表現することができるかどうかを見る問題。
(例)	与えられた英語で語順正しく書く。 書く内容を考えて英語で書く。 指定された内容を英語で書く。

課題等

聞くこと

Thank you.に対する応答の仕方(大問1小問2)や疑問詞(Who)のある疑問文の理解(大問2小問2)については、それぞれの設問別通過率が86.7%、98.3%で領域の目標値の66.0%と比較するとかなり高い。

やや長めの英文を聞いて、その概要・要点を理解すること(大問3)に課題がある。特に Do の疑問文に対する応答(大問3小問3)及び Did の疑問文に対する応答(大問3小問4)の設問別通過率は、それぞれ27.8%、36.7%で領域の目標値と比較するとかなり低い。

読むこと

対話文の内容理解(大問4小問1、3)、Me too.と Can you ~?の使い方(大問6)、疑問詞(Whose)の疑問文に対する応答と Here you are.の使い方(大問7)については、設問別通過率は領域の目標値の57.1%をそれぞれ10ポイント以上上回っており、かなり高い。

やや長めの英文(日記文)を読んで、その概要・要点を理解することや理解した内容を他の表現を使って書き換えること(大問5)に課題がある。「読むこと」の領域ではすべての設問別通過率が、領域の目標値よりもかなり低い。

書くこと

大問8、9、10の設問別通過率は、領域の目標値57.0%をそれぞれ4ポイント以上下回っている。特に前置詞 of の使い方(大問8小問2)については31.1%で、領域の目標値と比較するとかなり低い。

「書くこと」(大問8、9、10)に関するすべての内容(否定命令文の使い方、前置詞 of の使い方、年齢の尋ね方、友達の紹介文の書き方、現在形・進行形の表現)に課題がある。

...よくできている点 ...課題のある点

指導改善のポイント

聞くこと

やや長めの英文を聞いて、その概要・要点を捉える指導を重視

- ・ 言語活動を通して、話の内容を5W1Hの観点や時制に気を配り、メモをとりながら、聞き取るように指導していくことが必要である。
- ・ ブレインストーミング（聞かせたいトピックに関して連想される様々な意見や知識を出させ、どのようなことが話されそうかを推測させる）の手法を用いて、話される内容を大まかに予測させて聞かせるなどの指導が必要である。

読むこと

やや長めの英文を読んで、その概要・要点を捉える指導を重視

- ・ 読み取りの視点や手がかりとなる語句や表現を与えるなど、書かれた内容を正確に読み取ることができるように指導することが必要である。
- ・ スキャニング（設問に関連する情報の該当箇所のみをピンポイントで読んでいく探し読み）やスキミング（文書全体を流し読みし、大意を把握する速読）などの言語活動を計画的に取り入れ、英文の大切な部分を読み取ることができるように指導することが必要である。

「書くこと」との有機的な関連を図る指導を重視

- ・ 文章の内容を読み取って、その概要や要点を他の英語表現を使って書き換えるなどの「書くこと」の言語活動も取り入れ、「読むこと」と「書くこと」の有機的な関連を図るように指導していくことが必要である。

書くこと

文法的に正しい語順で書くための知識の定着を図る指導を重視

- ・ 英語の基本的な文構造や語順、特に代名詞と前置詞 of の使い方や年齢、日付、天気などを尋ねる時の表現、その他の頻度の高い決まり文句について、授業の中でそれらの使用場面を設定し、繰り返し指導することによって定着を図ることが必要である。

内容につながりのある文章を書く指導を重視

- ・ 内容につながりのある文章を書くために、はじめからテーマのみを与えるのではなく、テーマと書く内容をある程度与えて書かせる、テーマを与え書く内容を徐々に減らして書かせる、最終的にはテーマのみを与えて自由に書かせるなど、段階的に指導していくことが必要である。
- ・ 物語や説明文などの読み物教材を活用し、本文の要点をまとめたり、感想や意見などを書いたりする言語活動を通して、文章を書く指導を繰り返し行うとともに、ポートフォリオによって学習のプロセスを評価するなどの工夫も必要である。

与えられた内容について読み手に伝わるように書く指導を重視

- ・ 絵や写真などを見せてそれらが示している内容が読み手にわかりやすく伝わるように順序正しく書く指導を充実することが必要である。

設問別解答状況一覧

設問別通過率

(%)

問題番号 通し 番号	大問	小問	出題内容	観点	領域	全県	A層	B層	C層	D層	A層 - D層	無解答率
1	1	1	命令文に対する応答	理解	聞くこと	58.9	95.2	70.9	38.7	10.1	85.1	0.2
2	1	2	Thank you.に対する応答	理解	聞くこと	86.7	99.4	94.1	78.6	53.6	45.8	0.3
3	1	3	疑問詞(When)の疑問文に対する応答	理解	聞くこと	57.9	96.8	73.1	31.7	12.6	84.2	0.2
4	2	1	疑問詞(How many)の疑問文と進行形の疑問文の理解	理解	聞くこと	70.7	96.1	79.1	57.7	30.5	65.6	0.2
5	2	2	疑問詞(Who)のある疑問文の理解	理解	聞くこと	98.3	99.9	99.6	97.8	89.5	10.4	0.1
6	2	3	疑問詞(What)の疑問文と助動詞(can)の疑問文の理解	理解	聞くこと	72.1	95.6	80.4	60.0	32.0	63.6	0.2
7	3	1	Be動詞の疑問文に対する応答	理解	聞くこと	47.9	89.7	56.9	26.5	12.4	77.3	0.3
8	3	2	疑問詞(What)の疑問文に対する応答	理解	聞くこと	55.0	88.3	59.0	42.2	25.0	63.3	0.4
9	3	3	Doの疑問文に対する応答	理解	聞くこと	27.8	65.3	26.9	16.3	14.0	51.3	0.9
10	3	4	Didの疑問文に対する応答	理解	聞くこと	36.7	81.1	37.9	21.4	14.1	67.0	0.4
11	4	1	対話文の内容理解	理解	読むこと	82.8	98.4	92.1	74.5	33.2	65.2	0.3
12	4	2	対話文の内容理解	理解	読むこと	53.7	93.6	67.6	28.8	8.6	85.0	0.3
13	4	3	対話文の内容理解	理解	読むこと	82.8	93.3	89.3	78.7	39.6	53.7	0.3
14	4	4	対話文の内容理解	理解	読むこと	65.9	93.8	79.1	47.3	18.7	75.1	0.4
15	5	1	英文(日記文)の内容理解	理解	読むこと	11.3	45.0	10.1	1.0	0.0	45.0	10.5
16	5	2	英文(日記文)の内容理解	理解	読むこと	1.2	7.9	0.1	0.1	0.0	7.9	12.9
17	5	3	英文(日記文)の内容理解	理解	読むこと	6.8	35.2	3.4	0.7	0.6	34.6	18.5
18	5	4	英文(日記文)の内容理解	理解	読むこと	4.0	20.6	1.7	0.8	0.1	20.5	20.7
19	6	1	Me too.の使い方	理解	読むこと	82.5	99.3	96.9	70.1	17.8	81.5	0.5
20	6	2	相手を誘う時の表現(Can you ~?)の使い方	理解	読むこと	77.6	98.9	92.1	61.3	23.7	75.2	0.7
21	7	1	疑問詞(Whose)の疑問文に対する応答	知識・理解	読むこと	71.3	97.9	89.1	49.3	13.1	84.8	0.7
22	7	2	Here you are.の使い方	知識・理解	読むこと	72.6	99.2	89.9	50.8	18.0	81.2	0.7
23	8	1	否定命令文の使い方	知識・理解	書くこと	52.7	97.4	67.3	25.0	6.7	90.7	1.5
24	8	2	前置詞ofの使い方	知識・理解	書くこと	31.1	80.1	35.6	11.1	1.8	78.3	2.0
25	8	3	年齢の尋ね方	知識・理解	書くこと	50.0	96.1	62.6	24.3	4.4	91.7	2.2
26	9	1	友達の紹介文の書き方	表現	書くこと	50.2	94.8	67.5	19.9	1.0	93.8	16.6
27	10	1	現在形・進行形の表現	表現	書くこと	51.0	94.8	66.0	23.7	2.0	92.8	18.3

設問別:各層の通過率

A層とD層との差が大きい設問順に左から並べています

